

## 1 - 2 阿寒，徹別岳付近の双発型地震（1985年6～7月）

### The Shallow Earthquakes near Mt. Tetsubetsu, Akan

北海道大学 理学部

地震予知観測地域センター

Faculty of Science Hokkaido University

1985年6、7月に、北海道雌阿寒岳より約7km南にある徹別岳付近で浅発地震活動があった（第1図）。有感地震は下記のとおりM4.5と4.7の2つである。

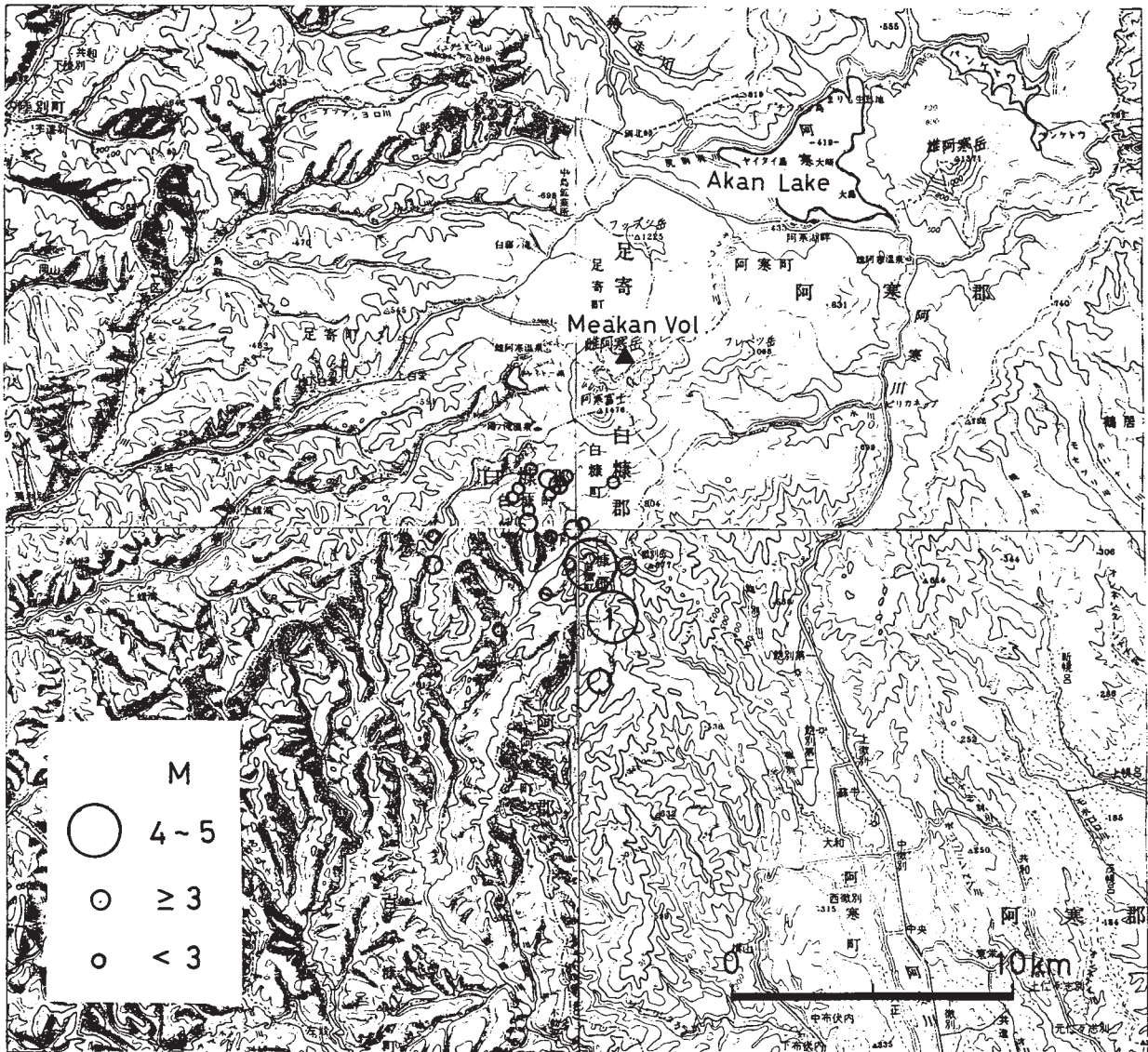
① 6月25日16時35分23.9秒，N43.30度，E144.01度，H23km，M4.5

② 7月6日10時22分28.3秒，N43.32度，E144.01度，H25km，M4.7

大きさがほぼ同じ地震が2回起った，いわゆる双発型地震であり，阿寒・弟子屈付近の地震発生様式の特徴を示している。初動の押引を見ると，北西－南東圧縮であり，この付近の平均的メカニズムと矛盾していない。

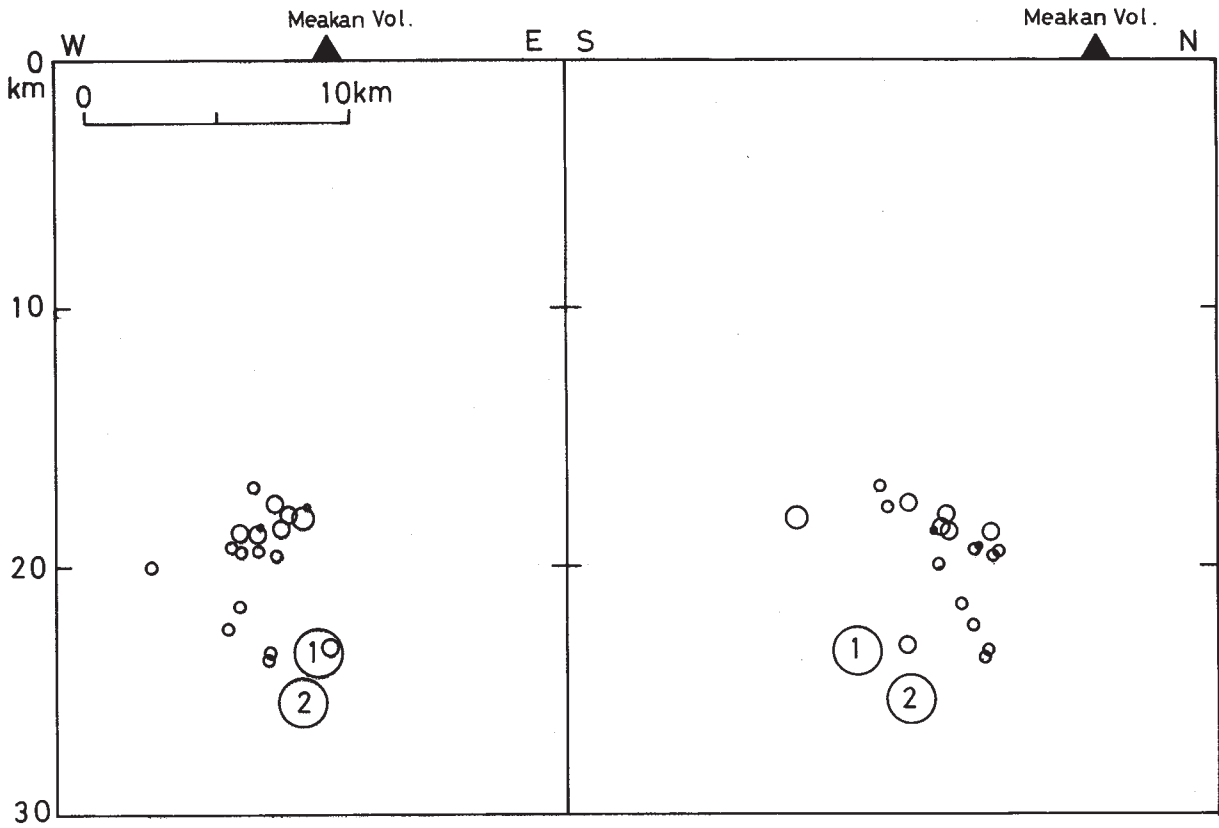
実際の震源の深さはもう少し浅い可能性がある。

（鈴木 貞臣）



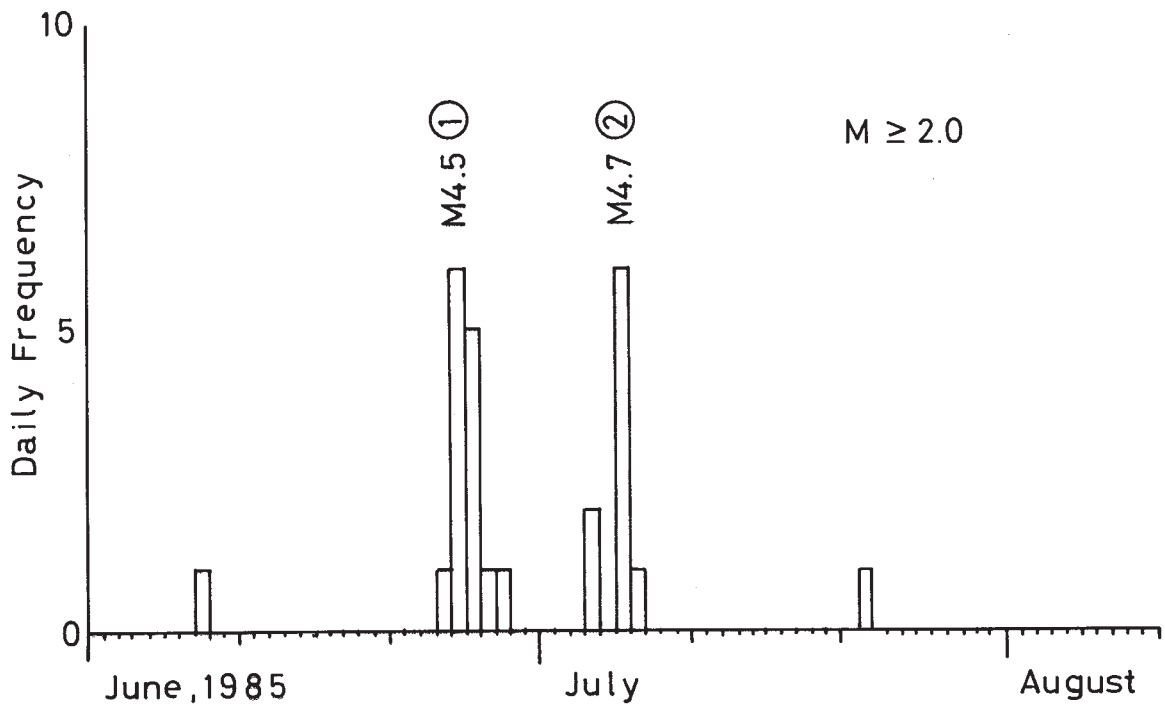
第1図 徹別岳付近で発生した地震の震央分布（国土地理院地形図1/20万使用）。  
地震番号1と2は第2, 3図と共通

Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes. Numbers 1 and 2 correspond to those in Figs. 2 and 3.



第2図 震源の垂直断面の分布

Fig. 2 Vertical cross sections of the hypocenters



第3図 日別地震発生回数 (M ≥ 2)

Fig. 3 Daily frequency of the events of which magnitudes are greater than 2.